

DSL20C & DSL20H



OWNER'S MANUAL

Marshall



はじめに

Marshall Dual Super Lead(DSL)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

DSLシリーズは表現力豊かな、伝統的マーシャルサウンドを提供します。

クリーンからハイゲインオーバードライブまでスイッチ一つで切り替えられるDSL20は、望みどおりのサウンドを簡単な操作で得られる多彩なオールバルブ(真空管)アンプです。

DSLシリーズは伝統的なSuper Leadアンプを髣髴させるトーンだけでなく、エフェクトループ、パワーリダクション、スタジオクオリティーのデジタルリバーブなど多様な機能を備えています。

このDSL20はコンパクトサイズで真空管アンプの豊かな音色を楽しめるよう設計されています。フルパワーでのステージパフォーマンスは勿論、パワーリダクション機能を活用してのスタジオワークや自宅練習用にも適しています。

皆さんが、DSLシリーズを楽しんでいただけることを心から祈っています。

- Marshall チーム一同

概要

DSL 20 ヘッドと DSL 20 コンボは、同じ機能を備えています。コンボは、12 インチ Celestion Seventy-80 スピーカーを内蔵しています。

DSLはフットスイッチでの切り替えも可能なCLASSIC GAIN(クラシック・ゲイン)とULTRA GAIN(ウルトラ・ゲイン)の2つのチャンネルを備えています。

CLASSIC GAIN(クラシック・ゲイン)チャンネルでは輝くようなクリーンから名機JCM800のようなクランチサウンドまで、ULTRA GAIN(ウルトラ・ゲイン)チャンネルでは更にハイゲインでアグレッシブなディストーションサウンドが楽しめます。

DSLは各チャンネル共通のパッシブ3バンドEQ(ベース、ミドル、トレブル)を備えています。更に中音域のニュアンスを変えるトーン・シフト機能も搭載しており、この機能をハイゲイン設定と組み合わせると、現代的なメタル系サウンドへと変貌します。

DSL20は高品質なデジタルリバーブやエフェクトループ端子も備えています。またLOW POWER機能により、小音量でも豊かな真空管サウンドをお楽しみいただけます。

警告!安全上の重要事項

警告:

電源は必ず交流100Vを使用してください。

商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

電源入力とヒューズ:

アンプの定格電圧はリアパネルに記載されています。

付属の電源コードをアンプ裏面のMAINS INPUT(16)に接続してください。ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

絶対に定格以外のヒューズを使用しないでください。

アンプを運ぶ際の注意点:

機器の電源を切った上、電源ケーブルや全ての接続ケーブルを外し移動/運搬を行ってください

重要なセットアップ情報:

1. 外部のスピーカーキャビネットと組み合わせて使用する場合は、正しいインピーダンスのスピーカーキャビネットが接続されていることを確認してください。詳細についてはリアパネル機能のLOUDSPEAKER(22)の説明を参照してください。

警告

正しく接続を行わないとアンプ及び、他機器の破損の原因になります。

スピーカーキャビネットの接続には専用のケーブルをご使用ください。

スピーカーキャビネットの接続にギター用のシールドケーブルは絶対に使わないでください。

2. POWERスイッチ(15)がOFF(オフ)になっていることを確認してください。
3. OUTPUTスイッチ(14)がSTANDBY(スタンバイ)になっていることを確認してください。
4. 最初に電源コードをMAINS INPUT(16)に接続し、次にコンセントに接続します。
5. フロントにあるコントロールが全てゼロになっていることを確認してください。
6. ギターをフロントにあるINPUT(1)に接続して下さい。
7. POWERスイッチをONに切り替え、数分間待って下さい。その後、OUTPUT switch(出力スイッチ)をLOW(低出力)またはHIGH(高出力)に設定して下さい。
8. フロントパネルのPOWERスイッチをオンに切り替え、2、3分待ってから、手順9に進みます。
9. 選択したチャンネルの音量をお好みの程度まであげれば演奏可能な状態になります。

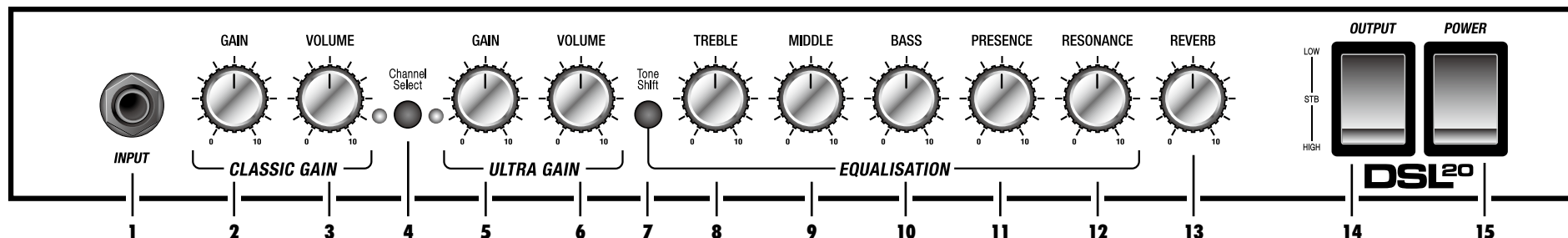
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みください。

全ての注意書きに従い、警告を守ってください。

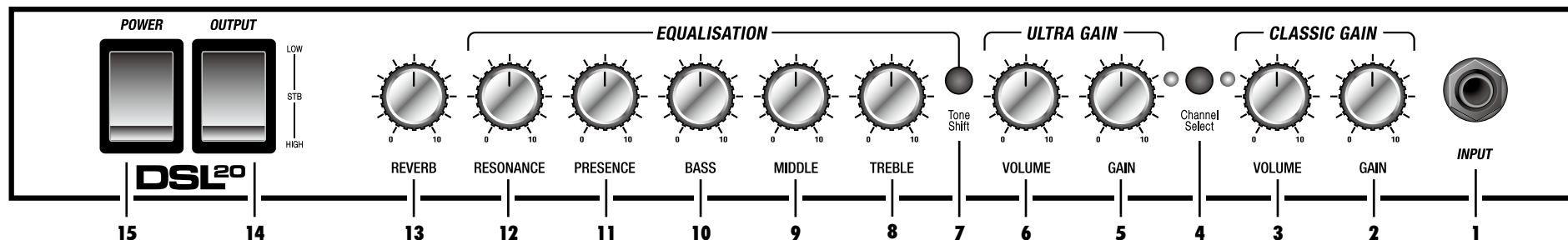
この取扱説明書は保存してください。

フロントパネルの機能

DSL20C フロントパネル



DSL20H フロントパネル



1. INPUT

ギター用ケーブルを使用して楽器を接続します。

CLASSIC GAIN CHANNEL

2. GAIN

CLASSIC GAINチャンネルの入力ゲインを調整します。

3. VOLUME

CLASSIC GAINチャンネルの音量を調整します。

4. CHANNEL SELECT

CLASSIC GAIN/ULTRA GAINチャンネルを切り替えます。

CLASSIC GAINチャンネル選択時には緑色LEDが点灯します。

ULTRA GAINチャンネル選択時には赤色

LEDが点灯します。

Note: フットスイッチでのチャンネル切り替えも可能です。

ULTRA GAIN CHANNEL

5. GAIN

ULTRA GAINチャンネルでのゲインを調整します。設定を上げるほど強いディストーションが得られます。

6. VOLUME

ULTRA GAINチャンネルの音量を調整します。

EQUALISATION SECTION

7. TONE SHIFT

プリアンプEQのミッドレンジ部分を再構築し、全体的なサウンドのニュアンスを変えます。

8. TREBLE

高音域の出力を調整し、サウンドに明るさと切れ味を加えます。トーンシフト(7)と組み合わせるとより強調されます。

9. MIDDLE

中音域の出力を調整し、サウンドの厚みを調整します。トーンシフト(7)と組み合わせるとより強調されます。

10. BASS

低音域の出力を調整し、サウンドに深みと温かみを加えます。

Note: EQセクションは構造上相互作用します。そのため1つのツマミのレベルを変更すると、他のツマミの動作にも影響します。

11. PRESENCE

パワーアンプ部でサウンド全体の超高周波帯域を調整します。

12. RESONANCE

パワーアンプ部でサウンド全体の超低周波帯域を調整します。

フロントパネルの機能

13. REVERB

リバーブを調整します。

14. OUTPUT (出力)

この3点ロッカースイッチはSTB (スタンバイ)と出力レベル選択機能を併設しています。

HIGH: 20W出力の高出力設定です。

STB (standby): このモードはPOWERスイッチ (15)と併せて使用します。

OUTPUTがSTANDBYになっていることを確認してからPOWERをONにして、数分待ってからOUTPUTをHIGHかLOWにスイッチします。

スタンバイモードは、休憩中に真空管の負担を軽減するためのミュート機能としても使用します。

LOW: 10W出力の低出力設定です。

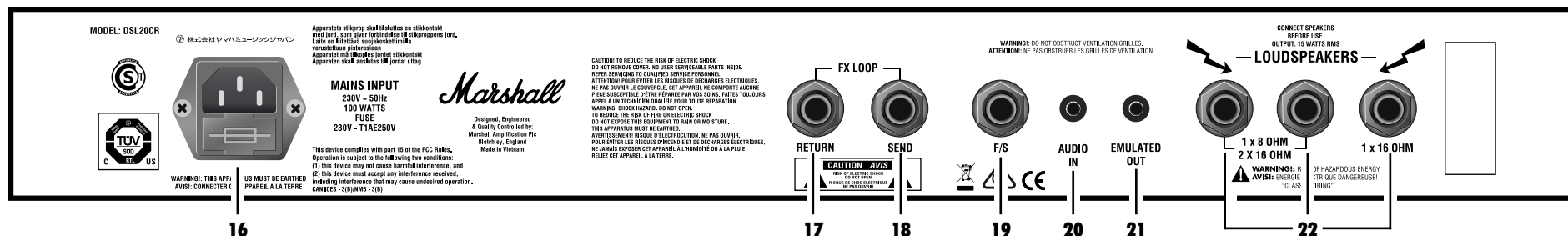
15. POWER

アンプの電源ON/OFFスイッチです。

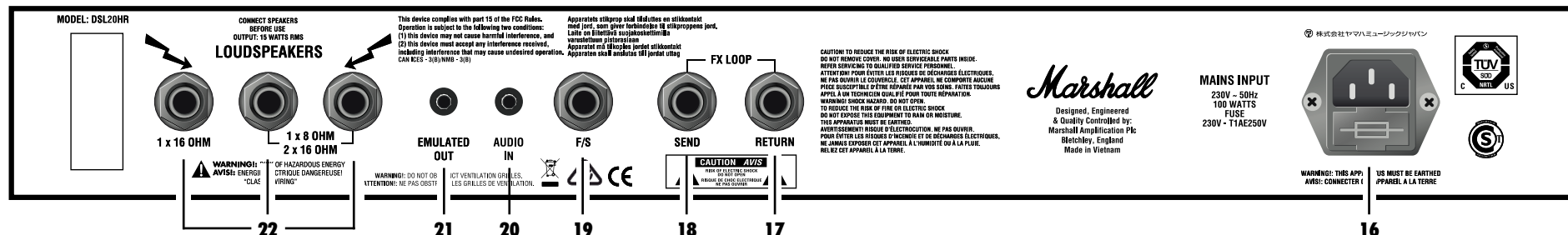
備考

リアパネルの機能

DSL20CR リアパネル



DSL20HR リアパネル



16. MAINS INPUT

付属の電源コードを接続します。

注意:電源入力ソケット内にはヒューズ・ボックスがあります。電源ヒューズの規格はリアパネルに記載されているものをお使いください。ヒューズ・ボックスを開くときは必ずアンプのスイッチを切りコンセントから外してください。

ご不明な点をご購入の販売店にご相談ください。

17. FX LOOP RETURN

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのアウトプットに接続します。

18. FX LOOP SEND

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのインプットに接続します。

19. F/S

付属の2-Wayフットスイッチ (PEDL-90012) を接続します。チャンネル切り替えとエフェクトループ機能ON/OFFが可能です。

20. AUDIO IN

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調整することで、お気に入りの曲やバックトラックと合わせて演奏できます。

21. EMULATED OUT

ミキサーなどの外部機器やヘッドホン接

続時に適した周波数補正を施したライン出力端子です。DSLにはSoftube社が設計した高品位なキャビネットエミュレーション機能が搭載されています。ヘッドホンでの練習や外部機器に接続してのレコーディングに最適です。

注意:EMULATED OUTを使用してサイレント・レコーディングをする場合は、OUTPUTスイッチをSTB (スタンバイ) に設定してください (フロントパネル機能#14)。

重要:EMULATED OUTを使う場合でもスピーカー接続 (リアパネル機能#22) は外さないでください。

22. LOUSPEAKERS

3つのスピーカー出力端子があり、各端子には適合する抵抗値が記載されています。

- 1 x 16 OHM: 16Ωのスピーカーキャビネットを1台接続します。
- 1 x 8 OHM or 2 x 16 OHM: 8Ωのスピーカーキャビネットを1台、または16Ωのスピーカーキャビネットを2台接続します。

警告:DSLシリーズには3つのスピーカー出力がありますが、3台以上のスピーカーキャビネットの接続はできません。

安全な組み合わせは1x8Ω、2x16Ω、1x16Ωのいずれかのみです。

この他の組み合わせによる使用はパワーアンプ部に負担をかけ、真空管または出力トランスの故障の原因となります。

DSL20HRとDSL20CRは必ずスピーカーを接続してご使用ください。

MARSHALLAMPS.COM



Marshall Amplification plc, Denbigh Road,
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.
Telephone: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118
Registered in England. Registered Number: 805676

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to its policy of constant improvement and development, Marshall Amplification plc reserves the right to alter specifications without prior notice.

BOOK-90031